

# 大岡の風7月



令和7年6月30日  
横浜市立大岡小学校  
TEL (711) 0818  
FAX (713) 3563

本来の「情報活用能力」の育成を目指して

校長 馬渡 照代

横浜も梅雨入りし、蒸し暑い日が続いています。熱中症対策をしっかりと行って子どもたちの健康に十分配慮し、安全に学校生活を送れるよう、しっかりと取り組んでまいります。

さて、5月から高学年の宿泊体験学習が行われています。最初に出かけたのは4年生で、上郷に行きました。初めての宿泊体験学習でしたが、しっかりと準備して元気いっぱい出発していきました。1日目は、宇宙科学館でプラネタリウムを鑑賞して星についてたくさんのことを学んだり、アトラクションで時間を忘れて夢中になって活動したりしました。夜は、キャンドルファイヤーで歌い踊り、皆で楽しいひとときを過ごすことができました。

2日目は、「火起こし体験」でした。薪割りから火起こしまでグループで協力して行い、マシュマロを焼いて食べました。その美味しさに、皆大満足の活動になりました。退館式では、丁寧にシーツを畳み、きれいに部屋掃除したことをドングリおじさんが褒めてくださいました。「皆のルールを守った行動が、皆の知らない誰かをハッピーにしてくれたね。これからもこのルールは誰のためなのか、誰のハッピーに繋がるのか、ルールの隠れた秘密を考えてね。そして、素晴らしい人生を歩んでね。」と話してくださいました。子どもたちが頑張ると必ず話して下さるお話ですが、今年も聞くことができ、子どもたちも私もハッピーになりました。

話は変わりますが、横浜市では、iPadの持ち帰りを試行しており、本校では、それに先駆けて昨年度からiPadの持ち帰りをを行っています。「ICT機器を活用した学習の充実、情報モラルを含む情報活用能力の育成を目指して、学校と家庭の学習をつなげ、より児童にとって効果的、効率的な学びを実現する。」ということを目的に、本校では、今年度も7月1日から順次開始し、子どもたちの情報活用能力を育てたいと考えています。

日頃、子どもたちは、とても有効にiPadを活用して学習に役立てており、さすが大岡っ子、と感心させられることが度々あります。また、多様な形式で入力することにより、iPadを使っの表現活動がとても豊かになってきています。今後は、学校としてタイピング技術の向上も目指していきたいと考えています。一方で、ルールを守らない使い方が目立つようになってきました。そこで、改めて正しい使い方やiPadを使うことの良さについて、ICT推進部の教師が、朝会で話をしました。保護者の皆様にもご理解いただきたいと考えましたので、紹介いたします。ご家庭でも、話題にさせていただけますと幸いです。

学校にiPadが導入されて、5年が過ぎました。皆さんは、なぜ、学校でiPadを使うのか、考えたことがありますか。先生たちは、iPadは「学びを豊かにする」ための道具だと考えています。今までは説明するのが難しかったことも、写真や動画を撮ることで分かり易く説明できます。また、調べ活動でも、本だけでなくインターネットを使って、より多くのことを見つけることができます。正に、学びが豊かになっていると言えますね。先生たちは、豊かな学びのために皆さんには、iPadをとことん使って欲しいと思っています。

しかし、最近iPadの使い方、気になることが増えてきました。例えば、先生や友達の話の聞いている間もiPadを触っていたり、授業中、後ろを通りかかると全然違う使い方をしたり、違う場面を見たりしているところを見かけることがあります。また、休み時間に学習と関係ないことを調べたり、先生が見ていない所でゲームをしたりしている、ということもありました。正に、皆さんが、道具に使われてしまっている状態になっている、と先生たちは思います。そして、そういう使い方をしてる姿を見ると、とても悲しくなります。皆さんには、モラルを守って正しい使い方をして欲しい、と心から思います。

ここでもう一度、iPadの使い方を確認しておきます。まず、iPadは学校で貸し出している物であり、個人の物ではありません。6年間使用した後は、新しく入学してくる1年生に引き継ぎますので、丁寧に大切に使うて欲しいと思います。また、休み時間にiPadを使用するときは、係活動なら担任の先生に、クラブ委員会等は担当の先生に確認してから使うようにするなど、ルールを守って正しい使い方をしてください。大岡っ子なら、約束を守って素敵な学びができると、先生たちは信じています。

【一部加筆】